

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町政要覧作成業務				開始年度		
基本目標	広報公聴活動の充実				終了年度		
担当課(局)	政策推進課	担当係	情報政策係	記入者	野中 清美	評価者	森 弘道
21年度決算	0	千円	22年度予算	683	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	0 千円		22年度人件費	1,822 千円		事業従事者数	0.00 人 0.25 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	高鍋町の基本構想・基本計画に基づき、各分野の施策を分かりやすく紹介する。
事業の内容	県内外自治体関係省庁への陳情や町外研修先への配布、企業誘致・移住促進・観光PRなどに活用する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	#	
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	#	
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	0	目標値	回		
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値	部		
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値	回		
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町が行うべき事業である。 事業廃止は、町のPR不足を招くおそれがある。 ただし、21年度は在庫があったうえ、第5次総合計画を策定中だったため新規作成は行っていない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	

事務事業名	町政要覧作成業務	担当課(局)	政策推進課
-------	----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>近年、各自治体ともHPを立ち上げているため、以前ほど町政要覧の必要性は高くないと思うが、町の魅力を伝える広報誌・情報誌と考えるなら、町全体を網羅したパンフレットとして見直すか、あるいは「暮らしの便利帳」の中に組み込む方法で経費を掛けずに発行できる方法も検討してほしい。</p>	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	○		
				現状維持			
				縮小			
				廃止			
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎構成自体を見直す必要があるのではない。 ◎町政要覧は後世に残さなければならない資料であるが、毎年作成するのでなく、5年ごとに整備をしていくような方向に持って行ってほしい。費用などが嵩むなら、町民に販売するなどの対策を取って進めていただきたい。
	コスト	現状維持	◎町の顔として他の自治体等にも配布することから、町のPRを前面にだしてほしい。